

港区立赤坂小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<p>区の平均正答率と比較すると、「基礎」に関してはほぼ同じもしくは上回っているが、「活用」に関しては下回る場所がある。特に互いの考えの相違をふまえながら自分の考えを伝える力、資料やその他情報から読み取ったことをもとに自分の考えを伝える力が不十分であり課題である。また観点としては、[読むこと]は概ね良いが、[話すこと・聞くこと][書くこと]の力が不十分であり課題である。</p>
社会	<p>区の平均正答率と比較すると、「知識・技能」は高いものの、それらを元にして資料を読み取り、論理的に考え判断し、社会事象と結び付けるという力が弱いといえる。資料を適切に選び考察することを通して、主体的に課題解決する活動を大切に、日常の授業での資料活用による課題解決力を高めたい。社会科は知識の定着を重視しがちであるが、資料の読み取り・考察をきちんとする授業改善をすることで、児童に社会の一員であるという帰属意識を育てていく必要がある。</p>
算数	<p>学力調査の結果は、全体的には区の平均を上回ることができた。しかし、ほぼどの学年においても、「応用」に関しては課題が残る。原因として、既習事項を活用して数学的思考力を働かせ適用問題を解く力が弱いことが考えられる。校内研究のテーマである「論理的思考」を向上させる指導の充実が求められる。</p>
理科	<p>学力調査の結果は、区平均や全国平均とほぼ同じ、もしくは下回っている。学習には意欲的に取り組むが、理解や思考をもっと深めていく必要がある。日常的にあまり使わない知識・用語であっても、きちんと押さえて、理解に結び付ける。また、実験をした結果から自分なりに考察をして、それを自分の言葉でまとめることに重点をおいた指導をしていく。</p>

2 各教科の具体的な授業改善

国語	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字やローマ字を含む言語の特徴を理解し活用する力【知識及び技能】 ・自分の考えが伝わるように効果的に話す・聞く、書く力【思考力、判断力、表現力等】 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で短時間でも言語に触れる学習を行い、練習や活用を繰り返し、習慣化していく。 ・話す・聞くことのみあてを具体的に示し、必要に応じたメモの取り方を指導することで日常的に活用場面を増やす。 ・文章や表現のモデルを示す、効果的な書き方のポイントを具体的に示す、情報と関連付けて整理しながら書けるようにするなど見通しをもって書けるように指導の工夫をする。 ・主語・述語、話の順序、指示語、意見と理由の区別、話の中心、段落のつながり、文章の構造など基本的な事柄を確実に押さえ、論理的に考える指導をする。
社会	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を正しく読み取り、考察し、社会事象とつなげて表現する力を伸ばす。【思考力、判断力、表現力等】 ・学んだことや考察したことを基にして、社会の良き一員になろうとする意識を育てる。【主体的に学びに向かう態度】 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識を定着させたいうえで、授業の核となる資料（1つか2つ）を提示し、正しく読み取らせる活動を入れる。そのうえで、資料の価値や意味を考えさせる発問や活動を導入する。 ・学んだことが、港区・東京都・日本とどのような関係があるか、それが自分とどう関わってくるかを常に意識させる。それを基に、良き社会の一員として生きていくことの重要性を考えさせる活動をまとめの授業等に計画する。